

法 学 第 390 号

平成 28 年 7 月 20 日

各 私 立 幼 稚 園 長 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 28 年度幼児教育指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、受講を希望される場合は、推薦名簿に必要事項を記入のうえ、平成 28 年 9 月 9 日（金）までに当課あて提出願います。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

独 教 事 教 第 7 7 号  
平成 2 8 年 7 月 1 1 日

各 都 道 府 県 知 事  
殿  
附属学校を置く各国立大学法人の長

独立行政法人教員研修センター  
理事長 高岡 信也



平成 2 8 年度幼児教育指導者養成研修の実施について (依頼)

日頃より、独立行政法人教員研修センターの研修事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

標記の研修につきまして、別添の実施要項に基づき実施することといたしました。

つきましては、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「5 受講者(4)推薦手続」によらず、別紙「推薦名簿」を平成 2 8 年 9 月 1 6 日(金)までに、電子メールにて下記宛にご提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当センターホームページ (<http://www.nctd.go.jp>→センターが行っている研修→指導者養成研修→喫緊の教育課題に対応する指導者養成研修→幼児教育指導者養成研修) よりダウンロード可能となっております。

また、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。貴職におかれましては本研修の目的をご理解の上、適切な方をご推薦いただくとともに、受講者の成果活用にご配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。受講者には、研修終了 1 年後に成果活用状況について調査することとしております。

なお、指導的地位における女性の占める割合が高まることが期待されることから、当センターとしては、女性の受講者の一層の増加を目指しております。各教育委員会におかれましては、女性の積極的な推薦についてご配慮願います。

【本件連絡先】

独立行政法人 教員研修センター

事業部 教育課題研修課 教育課題第二グループ  
(堀田、横澤、大岩)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター11F

TEL 03-4212-8464 FAX 03-4212-8466

E-mail: kyouiku2-1@nctd.go.jp



## 平成28年度 幼児教育指導者養成研修実施要項

### 1 目的

子ども・子育て支援新制度の施行を踏まえ、質の高い幼児教育を全国の全ての子供に保障するため、幼児教育を担当する指導主事等に対し、幼児教育の指導の充実や小学校教育との円滑な接続、評価を含めたカリキュラム・マネジメントの適正な実施など、幼児教育の指導者として必要な知識等を習得させ、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人 教員研修センター

3 共催 文部科学省

4 期間 平成28年11月30日(水)～12月2日(金)

5 会場 独立行政法人 教員研修センター  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

### 6 受講者

#### (1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市の幼児教育担当指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者。(認定こども園、保育所の指導・助言を行う者を含む。)
- ② 国公立私立幼稚園・保育所・認定こども園の教職員であって、各学校や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。

#### (2) 女性の研修参加の促進

指導的地位における女性の占める割合が高まることが期待されることから、当センターとしては、女性の受講者の一層の増加を目指している。推薦者におかれては、女性の積極的な推薦についてご配慮願いたい。

#### (3) 推薦人数

各都道府県(中核市分を含む)及び指定都市においては、1名以上とする。

#### (4) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において、子ども・子育て支援担当部局等と協議の上、推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」(別添「受講者推薦登録業務操作マニュアル」参照)により、平成28年9月16日(金)までに申請すること。

#### (5) 受講者の決定

受講者については、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教員研修センターが決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては独立行政法人教員研修センターにおいて調整を行う場合もありうる。

## 7 研修内容

別紙「日程表（案）」のとおりとする。演習や協議については、20名の単位（ユニット）を基本として取り組む。

## 8 事前学習等について

### (1) 事前学習について

受講者は、本研修を受講するに当たって、以下の資料を事前に読んでおくことが望ましい。

① 「幼稚園教育要領」（平成20年3月 文部科学省告示）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/you/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/index.htm)

② 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成26年4月30日 文部科学省告示）

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/law/index.html>

③ 「幼稚園教諭・保育教諭のための研修ガイドⅡー養成から現職への学びの連続性を踏まえた新規採用教員研修ー」

<http://youseikatei.com/5.cfm>

### (2) 資料の事前作成及び提出について

本研修を実施するに当たり、協議を行う際の資料となる各学校や地域における幼児教育の取組を作成する。

様式は事前課題様式1〔A4判2頁（片面印刷）以内〕及び事前課題様式2〔A4判1頁（片面印刷）以内〕とし、受講者決定通知後、期限までに提出すること。提出方法・期限等については、受講者決定通知の際に連絡する。

## 9 その他

(1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(2) 本研修は原則として宿泊研修とし、独立行政法人教員研修センターの宿泊施設を利用するものとする。

(3) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。

また、研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

平成28年度 幼児教育指導者養成研修 日程表 (案)

	9:30	10:00	10:30	11:30	12:30	14:00 14:15	15:30 15:40	17:00
		開講式	テオリ シヨ ン	【A】行政説明 「幼児教育行政の最新の 動向」 ○目的：最新の幼児教 育行政の動向を知る。	昼 食	【B】講義 「幼児教育の現状と課題」 ○目的：幼児教育をめぐる現状、そして 課題について、最新の幼児教育の動向を 踏まえながら、理解する。	休 憩	【C】講義・演習① 「非認知的能力」の重要性とそれを育む援助」 ○目的：幼稚園教育要領の改訂の方向性を踏まえ、特 に、意図される課題として「非認知的能力」を取り上げ、そ の重要性とそれを育む援助の在り方について、子供理解 とも関連させた講義と演習を通して理解する。
会場	独立行政法人教員研修センター (つくば本部)							

	9:00	10:30	10:40	12:30	13:30	14:30	14:40	16:00	17:00	
		【D】講義・演習② 「乳幼児理解 (特に0 ～2歳) と保育者の援 助の在り方について」 ○目的：幼児教育においては、小 学教育だけでなく、乳幼児期に の学習も非常に重要であり、特に 0～2歳の乳幼児期の保育の基 礎となる乳幼児理解の在り方につ いて、理解する。	休 憩	【E】講義・演習③ 「幼児理解 (3～5歳) と指導の在り方等につ いて」 ○目的：前の講義・演習②を受け、3～5歳の幼 児の発達の状態を踏まえつつ、幼稚園修了までに 育ってほしい姿を見通しながら、この時期にふさ わしい教育の在り方について、理解する。	昼 食	【F】講義・演習④ 「幼小接続 ～小 学校教育の観点か ら～」 ○目的：幼小接続につ いて、小学校教育の観 点から、現状や特に小 学校教育における幼児 期の学びを基礎とし て理解する。	休 憩	【G】班別協議① 「幼児期における子育て支 援、家庭や地域との連携に関 する班別協議」 ○目的：幼児の生活は、家庭、地域社 会、幼稚園と連携的に進められており、幼 児教育と家庭、地域社会との連携が非 常に重要であること等を踏まえ、幼児教育 施設と家庭、地域社会との連携の在り 方、新しい子育て支援の在り方など その方向性の理解と本園での取組への 生かし方に関して、班別協議を行い、情 報を得る。	休 憩	【H】講義・演習⑤ 「新しい時代に対応した教員 研修の在り方」 ○目的：最新の研修の手法に ついて学び、実際の研修で活 用できるようにする。
会場	独立行政法人教員研修センター (つくば本部)									

	9:00	12:00	13:00	14:30	14:45
		【I】講義・演習⑥ 「幼小接続を重視した指導案の作成」 ○目的：接続期の指導案の作成及び発表を行うことを通じ て、幼児期の指導計画の作成の基本を確認するとともに、幼 小接続の具体的な指導の在り方について理解を深める。	休 憩	【J】講義・演習⑦ 「幼児教育を推進するリ ーダーとして 研修の企画・立 案の在り方」 ○目的：本研修を振り返り、研修成 果をまとめる中で、幼児教育を推進 するリーダーとしてその知識を深める とともに、各地域で幼児教育の研修 講師となるための課題を整理する。	閉講式
会場	独立行政法人教員研修センター (つくば本部)				

講師 (予定)

- 【A】文部科学省初等中等教育局幼児教育課長
- 【B】舞臺隆 白梅学園大学子ども学部教授
- 【C】砂上史子 千葉大学教育学部准教授
- 【D】大方美香 大阪総合保育大学児童教育学部教授
- 【E】神長美津子 國學院大学人間開発学部教授
- 【F】朝倉 淳 広島大学教育学部教授
- 【G】鈴木みゆき 和洋女子大学文学部中等発達学類教授、速達英則認定こども園ゆゆうの森幼稚園長
- 【H】大杉 昭英 国立教育政策研究所初等中等教育研究部長
- 【I】神長美津子 教授 (再掲)、大竹節子 東京福祉大学幼児教育センター一研修部教授、力向上課研修研究支援専門員
- 【J】山下文一 高知学園短期大学幼児保育学科准教授

※日程等について変更することがあります

平成28年度 幼児教育指導者養成研修

**事前課題：各幼稚園等や地域における幼児教育の取組**

受講者番号	都道府県・指定都市等名	所属	職名	氏名

貴園（校）や貴地域における幼児教育の現状について、以下の項目ごとに（1）取組（2）成果と課題について箇条書きでまとめてください。

**1 幼・保・小連携について****（1）取組****（2）成果と課題****2 家庭、地域との連携について****（1）取組****（2）成果と課題**

注1) A4判2ページ以内とする。

注2) 必要と思われる補助資料等がある場合は、10部（班内配付用）を持参すること。

講義・演習⑥「幼小接続を重視した指導案の作成」		都道府県 等 名		受講者 番 号	
所属 (学校名/教育委員会名)		職名		氏名	

## ○○○指導案(略案)

※ 幼稚園5歳児の2月の週案又は小学校1年生(教科自由)の4月の指導案をA4版1~2枚程度で作成してください。(形式は自由です。)

平成28年度幼児教育指導者養成研修 推薦名簿

(都道府県市等名)

推薦 順位	氏名	フリガナ	年齢 (※注1)	性別	所 属			所属機関種別	電話番号	備考	
					名称	職名	郵便番号				
					住所						
<記入例>											
1	□□□□	□□□□	□	□	□□□□教育委員会□□課	指導主事	□□□□□□	□□市□□□□	00-0000-0000	教育委員会	00-0000-0000
2	□□□□	□□□□	□	□	□□市立□□幼稚園	教諭	□□□□□□	□□市□□□□	□□□□□□	公立幼稚園	00-0000-0000
3	□□□□	□□□□	□	□	□□□□教育センター□□課	□□主事	□□□□□□	□□市□□□□	□□□□□□	教育委員会	00-0000-0000
4	□□□□	□□□□	□	□	学校法人○○学園□□□□幼稚園	教諭	□□□□□□	□□市□□□□	□□□□□□	私立幼稚園	00-0000-0000
5	□□□□	□□□□	□	□	□□市立□□保育所	保育士	□□□□□□	□□市□□□□	□□□□□□	公立保育所	00-0000-0000
6	□□□□	□□□□	□	□	幼保連携型認定こども園□□□□こども園	保育教諭	□□□□□□	□□市□□□□	□□□□□□	認定こども園	00-0000-0000

担当者氏名	担当者電話番号
担当者フリガナ	担当者住所
担当者所属	e-mailアドレス

注1) 年齢は、平成28年4月1日現在で記入してください。

※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し、都道府県市教育委員会が使用するものであり、それ以外の目的で使用しません。